

EBUS-MFB（超音波気管支ファイバーガイド下微小鉗子生検）の安全性・有用性の後方視的検討

〔目的〕

EBUS-MFB（超音波気管支ファイバーガイド下微小鉗子生検）の安全性・有用性を解析する

〔調査する内容〕

臨床情報（年齢、性別、基礎疾患、縦隔リンパ節の部位、サイズ、EBUS-TNBA（針生検）の病理診断、EBUS-MFBの病理結果、検査時間、合併症）を診療録より収集する。収集したデータは匿名化し、データベースを構築し、院内において解析を行う。

〔調査対象〕

2022年1月より2022年12月まで当院にてEBUS-MFB（超音波気管支ファイバーガイド下微小鉗子生検）を実施した患者

〔研究成果の発表〕

個人を特定できない方法で解析し、呼吸器疾患に関する学会で発表を予定しますが、データの発表の際には個人が特定されることはありません。

〔研究責任者〕

国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科医長 五明岳展

〔研究への不参加の〕

この研究対象者又はその代理人は、この臨床研究によるカルテ情報の利用を拒否することができます。不明な点がある場合や研究への不参加のご希望の場合は、下記のお問い合わせ先に連絡をしてください。

〔お問合せ先〕

国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科 五明岳展  
電話 058-232-7755